

可変バンドパス光ファイバフィルタ

Tunable Bandpass Fiber Optic Filter



- 狭いバンドパス幅 (0.8 nm)
- 高い設定分解能 (0.05 nm)
- 広い可変レンジ (1535~1565 nm)
- 低い挿入損失 (代表値1.5 dB)
- 低い後方反射 (最大-50 dB)

Newportの可変バンドパス光ファイバフィルタは、波長1550 nm付近の30 nm以内の狭いパスバンドで中心波長を調整するために使用するものです。

1535~1565 nmの可変レンジを備えた0.8 nm可変フィルタモデルをご用意しています。このフィルタは、分離性が高く、挿入損失、後方反射、および、偏波依存性のいずれもが低いことを特徴としています。

薄膜コーティング干渉フィルタが2つの角度付き光ファイバコリメータの間に位置しており、希望する波長を選択することができます。波長の選択は、0.05 nmの分解能を持つ高精度マイクロメータを用いてフィルタのチルト角を調整することで行います。

可変バンドパス光ファイバフィルタの用途には、エルビウムドープファイバンプ (EDFA) および可変レーザー伝送システムにおけるサイドバンドノイズ圧縮、並びに、試験および計測分野における波長選択などがあります。

仕様

モデル	TBF-1550-1.0
波長可変レンジ (nm)	1535 to 1565
設定分解能(代表値) (nm)	0.05
0.5 dB帯域幅(代表値) (nm)	1.0
0.5 dB帯域幅(最大値) (nm)	1.2
20 dB帯域幅(最大値) (nm)	3.5
入力、最大 (mW)	500
挿入損失(代表値) (nW) ¹⁾	1.5 ⁽²⁾
挿入損失(最大値) (dB) ¹⁾	3.0 ⁽³⁾
後方反射(最大値) (dB)	-50
偏波面依存損失(代表値)	1565 nmで0.05 dB (代表値)、1535 nmで0.3 dB
中心波長温度安定性 (nm/°C)	0.005
熱安定性 (dB/°C)	0.005
ファイバタイプ ²⁾	9/125 μmシングルモード
操作温度	+15 to +65
保管温度 (°C)	-40 to +70

¹⁾ 光ファイバコネクタなし。

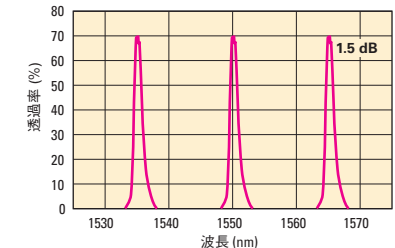
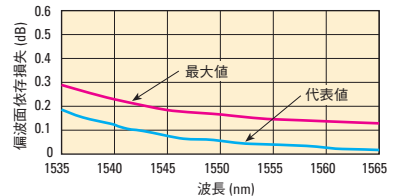
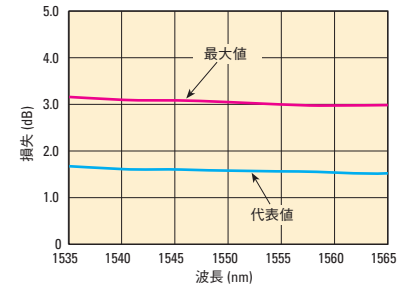
²⁾ フィルタには、1 m長ファイバとゆったりした3 mm径チューブジャケット付きのファイバビッグテールが標準で付属します。

³⁾ 1565 nm (dB) にて測定。

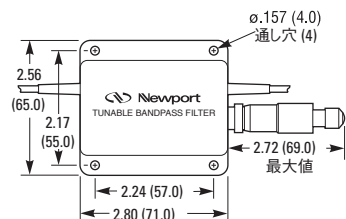
発注のご案内

モデル	内容	Price
TBF-1550-1.0	可変バンドパスフィルタ1550 nm、9/125ビッグテール、コネクタ無し	¥443,000
TBF-1550-1.0-FCAPC	可変バンドパスフィルタ1550 nm、9/125 μm、ビッグテール、FC/APC	¥443,000
TBF-1550-1.0-FCUPC	可変バンドパスフィルタ1550 nm、9/125 μm、ビッグテール、FC/UPC	¥443,000

1) 光ファイバコネクタとともに発注の際にご使用下さい。



寸法



[in. (mm)]

お客様のニーズにお応えする光ファイバと光ファイバコンポーネントのご決定には、日本レーザーのアプリケーションセールスエンジニアがお手伝い致します。